

子ども自由に発言できるようにしていきたいものです。

《教師が見本を示そう》

低学年の場合は、司会の進め方をまず教師が示すということが大切です。

《子供を賞賛し、自信をつけさせよう》

教師がやって見せながら、時々子どもたちに真似をさせてみます。上手くできたときには、とにかく誉めることです。

《経験を通して学ばせよう》

教師が見本を示しながらも、やっぱり子どもたちが自分でやってみないことには身に付きません。

続いて、中学年以上でのポイントです。

【中学年以上のポイント】

中学年以上では、基本的に計画委員会が自分たちで司会ができるようにしていく必要があります。そこで、中学年以上の司会者育成のポイントを5つにまとめてみました。

《教師がやってみせよう》

司会者の力量は、学年が上がるごとに育っていく、とは限りません。どれだけ経験してきたかがネックになるからです。中学年以上でも、必要に応じて「教師がやってみせる」ということも大切です。教師がやってみせることで学ばせたいものは、次のとおりです。

- ◇声の大きさ（調子）
- ◇意見が対立したときの進め方
- ◇意見が出ないときの発言の促し方
- ◇意見をまとめたり、つなげたりする方法
- ◇小集団⇄全体の討議のさせ方
- ◇採決の仕方

《何をどれだけやるか示そう》

話合いの事前指導で、話合いの見通しを持たせることが大切です。特に「折り合いをつける」ことが予想される話合いでは、どのように終わればいいのか、事前にシミュレーションさせておくことも必要です。

《決まったことを宣言させよう》

話合い中、司会者が宣言したものが決定事項であることを教えます。そのことによって、司会者の役割を指導するのです。

《計画委員会に参加させよう》

司会者と計画委員会が別組織の場合、計画委員会の話合いに司会者も参加させましょう。その中で、どのように会を進めていけばいいのかを考えさせることが大切です。

《日常の教育活動で司会経験を多くさせよう》

司会経験というのは、学級会だけでできるものではありません。日常生活の中にたくさんあります。例えば朝の会、帰りの会の司会。学習における発表会の司会。イベントにおける司会などなど。そういう経験をたくさん積み重ねることが大切だと思います。

2 学級通信を考える～その1：学級通信のねらい

山口市立平川小学校 梶田崇晴

一昔前に比べると、学級通信はかなりメジャーになってきたように思います。私が学級通信をやたらと書き始めたのは20年前です。私の学級通信は「やたらと」枚数が多いのですが、かといって、やみくもに書いているわけではありません。とりあえずねらいを持って書いているわけです。まずは、通信発行のねらいから述べてみたいと思います。

A 学級の様子を保護者に知らせる。

保護者は、学校（学級）で何があるのか知りたがっています。私も、我が息子が小学校に入ったとき、学校での様子が一番気になりました。学校（学級）での様子を知らせておくと、学級で何か取組みを行う場合に、協力のお願いがしやすくなるのです。

B 教育について、多いに語り合う場とする。

教育については人それぞれ考えが違っているものもあります。学級で何か取組みを行ったとき、どのような考えで行っているかを知らせることにしていました。もちろん、保護者からの意見も積極的に聞き入れる努力もします。

C 子どもの思い出を作る。

子どもたちにとって、その学年というのは一生に一度しかやってきません。その時、どういうことがあったのか、学級の記録として書き綴っていきたくて思っていました。

D 私の教師としての力量を高める

「書く」ということは、脳を鍛えます。また「書く」ことによって、そのことを真剣に考えます。それが教師の力量を高める最適な方法だと思っています。

3 メルマガ情報交換広場

このメルマガを使って、学級作りについての情報交換をしませんか？メルマガ購読者のみなさんの実践をお知らせください。このメルマガを双方向の情報交換誌

にしていきましょう。

- ◆盛り上がったイベント活動の情報～イベント名や活動の内容
- ◆私の学級の朝の会・帰りの会のプログラム
- ◆子どもが本気になった係活動

こんな情報が知りたい，こういう特集を組んで欲しいというものがありましたら下記アドレスまでメールでお知らせください。

☆ sugi-net@c-able.ne.jp

学級活動メーリングリストの皆さん，希望の会の皆さん，お便り待っています。

5 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第17号は10月下旬ごろ発行予定です。

次号では，「子どもが主体的に取り組む話し合い活動その7～司会者に育てたい力～」について紹介する予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は115名です。先日から希望の会メーリングリスト，学級活動メーリングリストで紹介させてもらってから，一気に購読者が増えました。とってもうれしいです。もっともっとメルマガ仲間を増やして，いろんな実践を交流し合いたいものです。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。

登録については，山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆ブログ開設のお知らせ◆◇◆

学級づくりについて，ちょっと思ったことや考えたことを綴ってみたくなり，このたび無謀にもブログなるものを始めてみました。明治図書さんの「Edu ブログ」を使わせてもらっています。いつまで続くか不安ですが，もし興味ある方はのぞいてみてください。

<http://edublog.jp/moomin/>

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====